

2026年 淀川左岸線 2期工事完了

阪神高速淀川左岸線2期事業（4.4km）は、広域幹線道路ネットワークの形成や都心北部地域での交通混雑緩和を目的に整備されています。国道176号（十三バイパス）やあみだ池筋などと接続する大淀出入口（仮称）や、国道423号（新御堂筋）の新大阪方面に接続する豊崎IC（仮称）が設置されます。

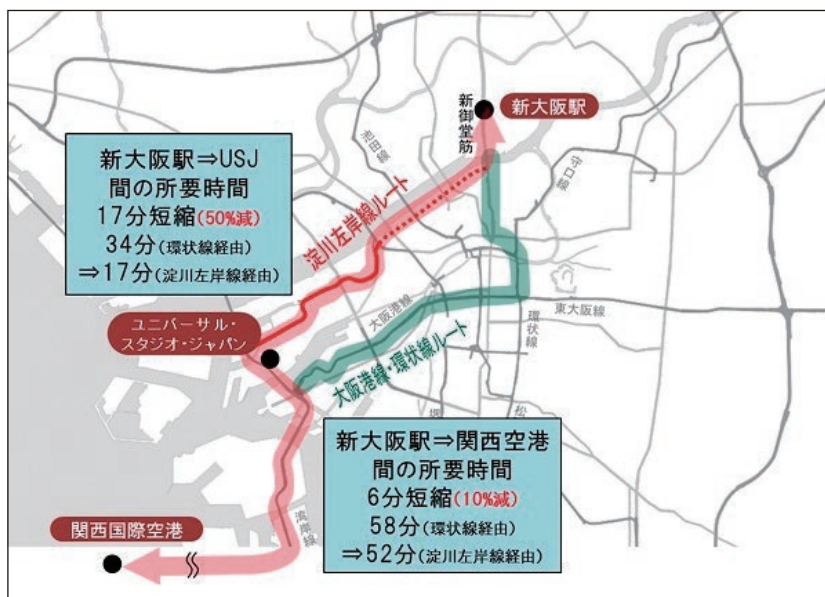
2025年大阪・関西万博に向けて前倒しで整備することで、万博開催時に、新大阪駅や大阪駅から万博会場までのシャトルバスルートとして暫定利用される見込みです。

事業費は、土壌汚染や地盤強化の対策も含め、約2900億円となる見通し。

また、淀川左岸線2期事業では、淀川左岸線2期と並行する淀川南岸線もあわせて整備されています。



出典：国土交通省近畿地方整備局 浪速国道事務所「概要 計画概要



出典：淀川左岸線 整備効果 | 阪神高速道路株式会社